

竹林の風

～ すべては学校のため すべては子どもたちのため ～

栃木県教育委員会事務局
河内教育事務所
令和8年10月28日
発行責任者 黒須親章
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp>



教育の目的や目標を実現する上で必要なこととして、教育基本法第13条（学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力）には、「学校・家庭・地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携、協力して教育を行うこと」と規定されています。今後はさらに、学校と社会教育が連携して、子どもたちの学びの場を学校から地域社会に広げていくこと、社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係としての土壌を耕して、持続可能な地域コミュニティの基盤を形成することがより一層必要となってきます。これらの実現に向け研修を開催しましたので報告をいたします。各校での取組に活かしていただけたら幸いです。

7.14 地域連携教員研修兼地域コーディネーター研修 開催報告



○講話・演習

「持続可能な学校と地域の連携・協働について考える」

～効果的な学校運営協議会活用のススメ～

○講師

文部科学省 CS マイスター 鈴木 廣志 氏

○参加者

地域連携教員

地域学校協働活動推進員

（地域コーディネーター、学校支援コーディネーター）

講話では、学校と地域の連携・協働に関する具体的な実践事例が数多く紹介され、参加者にとってコミュニティ・スクールや地域学校協働活動への理解を深める貴重な機会となりました。

後半は、中学校区ごとにグループを編成し、「学校・家庭・地域の持続可能な連携・協働」をテーマに「熟議」を実施しました。同じ中学校区の地域連携教員と地域学校協働活動推進員が情報交換や意見交換を行うことで、相互の役割や課題への理解を深めると共に、今後の持続可能な学校と地域の連携・協働の推進に向けた具体的な手立てを考える有意義な時間となりました。

地域と学校をつなぐ「熟議」～参加者の声～

◆地域連携教員から

コーディネーターの方との熟議を通して、学校と地域が協働する意義や重要性を再認識することができました。

持続可能な連携や学校運営のスリム化につながる具体的な視点を学ぶことができ、今後の実践に生かしたいと思いました。



◆コーディネーターから

学校の考えや課題を知ることができ、有意義な研修でした。学校と地域が互いを理解しながら協働することの重要性を改めて感じました。

人材確保や活動の継続に課題はありますが、学校との連携をさらに深めていきたいと思います。

熟議では、こんな意見が出ました！～今ある活動を整理し、地域とともに「磨きをかける！」～

熟議では、今まで学校の教育目標から独立して実施されることの多かった地域学校協働活動を、地域活動の目的を損なわずに学校の教育活動としても位置付けるという視点から、地域と学校でできる取組について話し合いました。各グループからは、キャリア教育や防災教育、登下校の見守り、不登校児童生徒の支援や居場所づくりなど、地域の力を生かした様々なアイデアが出されました。

各グループでの協議を通して、新しい取組を始めるのではなく、今行っている取組を「子どもの成長」という共通の目的で捉え直し、学校の教育目標に即した活動になっているかという視点から、その取組に磨きをかけることの重要性が共有されました。

今後の地域学校協働活動は、地域と学校が「どのような子どもを育てたいのか」という願いを互いに理解し合いながら、学校と地域がパートナーとしてそれぞれの強みを生かした連携・協働を進めていくことが期待されます。



熟議での対話



付箋紙を使ったワーク

～コラム～ 学校と地域が連携・協働して子どもたちを育てる意義とは?? ふれあい学習課 森美佑紀

学校と地域が連携・協働して子どもたちを育てる意義は何でしょうか。一つ挙げるとすれば、私は子どもたちが地域の多様な大人と出会い、認められたり励まされたりする機会を得られることだと考えます。

印象に残っている出来事があります。思春期真っ只中で、担任とも距離を取るような 6 年生の A さん。家庭科の調理実習で、調理ボランティアの方が A さんに「包丁の使い方が上手だね」と声を掛けてくれました。さらに「お手伝いしているの?」「何が得意なの?」と自然に会話を広げてくれたのです。実習後、A さんに話を聞くと、「弟が生まれたばかりで、お母さんが大変だから料理を手伝っている」と、照れくさそうにしながらも、どこか誇らしげな表情で教えてくれました。自分の頑張りを地域の方に認めてもらえたと感じたことで、A さんの自信につながったのだと思います。担任としても、A さんの新たな一面に気付く機会になりました。

子どもにとって、地域の大人との関わりの中で、認められ大切にされていることを実感できる機会は、親や教師からの評価とはまた異なる価値をもっています。このような経験は、自信や自己肯定感を育むだけでなく、地域への愛着にもつながります。こうした地域の大人との出会いと温かな関わりが、学校と地域が連携・協働して子どもたちを育てる意義の一つではないでしょうか。

教えて!! 地域連携 Q&A

Q:コーディネーターの方と打合せをする時間を確保できません・・・

A:コーディネーターの方も学校の忙しさは十分に理解しています。打合せの時間をじっくり取るが必要な場合もありますが、まずは電話や学校で顔を合わせたとき、少しの時間に雑談から始めてみませんか♪

